

# 2019年度 事業報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

クローバーの会@やまがた

## 1. 事業の成果

事業実施により、さまざまな困難を抱える若者たちが不名誉感や傷つきを感じることなく、気軽に立ち寄ることが出来る敷居の低いフリースペースの活動ができた。加えて、そこからステップアップする形で地域食堂（子ども若者食堂「みどり町こどもひろば」）を開くことができ、参加する若者の活躍の場を創出することも出来た。また親の会で当事者家族の孤立を防ぎ、家族間の雰囲気をやわらげたり、凝り固まった価値観を緩めたりすることで、辛い状況にある方に支援を届けることが出来た。この3つの活動がお互いに入口や出口となり、それぞれの活動を行ったり来たりできる作りにできたことは、参加者の足場を増やすことになった。これまで立ち上げた親の会『ちえり〜ず』、『ウラヌスの会』に加えて、2019年度、新たに『360』が加わったことで、親の会のネットワークが強化されただけでなく、県内に相談窓口、支援団体が増えたことは孤立する家族にとって大きな助けとなった。

- ① 「不登校・ひきこもりの相談窓口の開設」事業
- ② 「不登校・ひきこもり出張相談会&入門講座」事業
- ③ 「若者に居場所を提供するフリースペースの開設・運営」事業
- ④ 「次のステップにつながる地域食堂の創出」事業
- ⑤ 「家族を対象とした茶話会（親の会）の開催」事業
- ⑥ 「地域に根ざした親の会の立ち上げ支援」事業
- ⑦ 「地域住民への理解促進を目的とした講演会などの開催」事業
- ⑧ 「学びたい人、学び直したい人のための学習支援（みどり町夜間教室）」事業

※①～⑦は「平成31年度若者相談支援拠点設置運営事業」の業務委託（山形県若者活躍・男女共同参画課）を受けて実施。⑧は自主事業として実施。

## 2. 事業の実施に関する事項

①相談窓口	電話・メール・来所による相談	山形市	延べ377人
②出張相談	入門講座・出張相談合わせて年間：24回	村山地域	延べ101人
③フリースペース	年間総開日数：166日	山形市	延べ550人 通信10回各300部発行
④地域食堂	年間開催回数：24回	山形市	延べ367人
⑤親の会	年間開催回数：12回	山形市	延べ125人
⑥親の会立ち上げ支援	立ち上げた親の会：1団体	山辺町	「360」9月～延べ12人
⑦講演会	朝倉景樹氏による講演会の開催 11/16	山形市	参加者39人
⑧学習支援	みどり町夜間教室 年間開催回数：24回	山形市	延べ42人

※他に、事業効果の高めるための独自の取り組みとして

ヨガのワークショップ年間4回（延べ10人）、スケートイベント年間1回（7人）、パステル画ワークショップ年間1回（6人）、eスポーツ年間11回（延べ66人）、サブカルの部屋年間7回（延べ18人）、カラオケイベント年間3回（延べ9名）、マンガ部年間2回（延べ16人）、メンバーオムニバス年間1回（5人）、もやしパーティ年間1回（3人）などを開催。